

三
種
之
卷

聞書
乾

和装本

ケ 5

44

27



三種之卷

聞書
坤



大坪本流三種之卷

口傳書

三種之卷者眼萬爪也眼五藏精花ナリト云ハ
 目玉ハ心ニ属ス眼ヲ以テ惺相心氣ノ曲直強弱ヲ
 一箇ヲ以テハ心腑ノ盛衰ヲ知リ爪ヲ見テハ千里ノ
 遠行ヲ察スル也此三ツノ物ハ相客ノ要トスル者
 是本文ノ如クニ眼萬爪ヲ相スル事ノ三ツノ品ヲ上
 タルカ故ニ三種ノ美トハスルモノ也眼ハ五藏ノ精花
 ト云ハ則五行五藏ニ應ツ目蓋ハ應脾屬土肉輪ト云
 白目ハ應肺屬金氣輪ト云黒目ハ腎經也屬

水ニ水輪ト云眼乃ハ焦心屬大ニ血輪ト云物録ハ所
經也屬木ハ輪ト云眼ハ日月ニ等キ也日月ハ五行
ノ精花也是以テ眼ハ五藏ノ精花トモ説リ又明カ
ニ物ヲ見ルハ心經ナリ及ニ眼ノ玉ハ心ニ屬トハ瞳之明カ
成レハ心モ直ニ得モ能直馬也ト知ル也瞳濁ラス
ハハリ悪キハ下得亦ハ由馬ト知ルハハ瞳青ク光ルハ人
ヲ食ヒ強クスル馬ト知ル其外靜騷ヲ見分テ
知ル下也俗ニ要トスル処ヲ物ノ眼ト云大下ノ処ナリ
齒ヲ以テ身軀ノ盛衰ヲ知ルトハ輿ニ説ルカ如

ク當歲ヨリレテ五歲迄ハ駒ノ齒アリ故ニ駒ノ
齒長ニナス也六歲ヨリ十五歲迄ハ齒ヲ以テ知テ四調ノ
養長ニナス十六歲ヨリレテ二十三歲ニ至ル迄ハ老馬トナ
レテ白齒之白ク朽タル内ヲ知テ老馬ノ養長ニナス
也齒ヲ以テ外之有精ハ年ヲ不知凡馬ハ齒ヲ以テ
歳ヲ知ルハ傳アル也是ハ相術傳法ノ内ニ歳齒
之傳ト云是也爪ヲ見テハトハ爪アシケレハ千里ノ
馬モ其能ナシ故ニ爪ハ足ノ帝ト文字ヲタムナリ
爪ノ見攝其品輿ニ説リ相名ト傳ニ爪ニ躰ニ

心下見ル也人ト違テ瓜コケレハ小荷駄ニナレモ
馬ノ用ハアルモノナルカ故ニ瓜ヲ第ハ一ニ見ル也故ニ
瓜ヲ以テ千里ノ能ク察スル也右ノ三ツノ物ハ相
容ノ要トメ悪キ所ハ許レカタクヨキハ宜ク成ルカ故
ニ三種之卷トハ早クスルモノ也

赤坂三ツツモ雜ヒテナリカタキ故ニ三ツノ夕子ナリ
上俾眼張大キニ丸ク赤キ夕子タカシカ、リ目ノ内ニ肉血ヲ
持テ黒目多ク梨地肌ニシテ眼強ク見張リ能ク
ル、上俾ト知ル、但シ懸ノ眼ノ内ハ濁ル者也

是ハ眼張大ニ丸クトハ眼ツワツト見開キヌル所ノ
惣体大キニシテナルシ吉トスニ活弁ニメキトイサ
メルカ故ニ眼張大キニアルモノ也眼張大キナルカ故ニ
肉血キ在ニ夕子タカシカルト知ル、目ノ内ニ肉血ヲ
持ト、白目ノ白頭ヨリ赤筋所々見ユルヲ云也心盛
ニナルカ故ニ肉血有ト知ル、黒目多ク有ハ暗強ノ
強キカ故也目ノ性宜キト知ル也也梨地肌ト、黒目
ノ内之地肌ノ皮也清水ノ下ニ梨地ト、清水ク、
ト見ユルカ如クアルヲ指テ梨地肌ト、スルモノナリ

心清ク氣澄ニテ腎ノ水強キカ故ニ梨地肌ハ有
モノ也眼強ク見張リ能スルタルトハ人向之ニテ見ルニ
眼精ヨキ馬ハ目ハタキシナレテ目頭ヨリシテ淚シ
濡ス眼性弱キト知ル強キハハタキシナサアルモ
ノ也能見張テ目ノ内清ク有カ故ニ男悍馬ト知
テ上悍ト相スルモノ也葦毛馬ハ目ノ内大概暗ル
モノトハ是傳有葦毛ハ木性ノ馬也初メ毛ナリ故
ニ五性ナモノト上ニ置ナリ屋代庄助ノ哥ニハ譯リ
ホハ春ノ系子シ主也依覆ナリ其氣ノ自然ト春ハ

天氣シウケテカスムモノナリスニ春ニ春ニ霞トハ
云ナリ相馭ノ歌ニ

眼ハリイカニモ冥テ大シテ梨地肌ヲ得トレハ
亦傳ニ眼ハ向ハ奇ニ三角ニ目下ハナクニクホノヒクキ

カ吉アリ

中悍眼眼張上悍ノ眼ヨリ少シ長クニテ黒目ノ内梨
地肌少シ長ク見ヘテ至靜也是ヲ中悍ト知ルハ

是ハ中悍ハ清濁相兼ルカ故ニ眼モ亦上悍下悍ノ境
中ニ見ユル也又至靜ナリトハ清濁相兼テ中ニメ能

氣静ナルカ故ニ又瞳静也玉静成カ故ニ得モ又中ニ
乘能馬ト知ル

又ニ得ノ中ノ下モ中得也中得ノ下ノ上モ中ニタタル也
下得眼眼張細ク目ノ内曇リ地肌見分ストイ一匹麥
穂肌ニシテ玉寒シサルハ下得也

是ハ眼張細ク見開タル処ホソク見張リモ弱クハア
ルモノ也心ヲトレルカ故ニ眼ホソクアルモノ也心不寒カ
故ニ玉寒シス地肌モ心氣清ナク不寒カ故ニ目ノ内曇
リ其肌モシマラサルカ故ニ麥穂肌ニ見エルナリ是ソ

下得ト知ル也歌ニ

眼張イカニモワス細クシテハキホハタコク下得ニケリ

過物眼眼張大キニ目皮厚ク子女ニサレカ、リ見冠キ強
キ強クテ内光ニテ黒目ノ地肌澄タル水底ニ梨地
シ置タル如クナルハ過物ト知ル

是ハ過物ハ強得ノ馬也眼上得ヨリ其品一際活祭
ニ大ニ見エ也玉ノ内スルトニ見エルハ一際勝レテ強得
成カ故ニ其精ク玉ニアラス水底ニ梨地シ置タル如ク
アルモ上得ヨリ一際スル、故ニ清タル所一入スルトニ澄

ニ見エルト知ル

湯山入道ノ説ニ六月シ以テ云リ馬ハ月シ主ル月満

時ニ丸シ

大塚ノ説ニ憚人盛情能故ニ目ニ亮シテ眼張大シ

トアリ

柏子之瞳子瞳子スワリタルハ柏子ノ馬ニナレシ

是ハ瞳心気ヲ知ルノ大ニ妙也故ニ瞳スワリタルハ気

正キト知ル也其居リ極汝暗馬ノ如ク瞳居ツテ

働カサルト云ニハ状ス平カニ正シクアル瞳ヲ指テ居リ

ルトハ説リ瞳平カニ正ク居ルカ故ニ四ツノ柏子正ク

柏子ノ馬ニ成テ鞍下平カニ正ク成ル也故ニ柏子ノ馬

シハ下地ノ馬ト号シテ大地ニ居リタル如ク鞍上平正

ク乗ラルカ故ニ是ヲ具足下地ノ馬ト号シテ柏子

ノ馬ト云也

下風之瞳子瞳子上ト下トニ見エルハ風ノ馬ニナレシ

是ハ上下ト見エルトハ風ノ吹力如ク却々ト

行足也其尻ノ始ハ柏子ト定テ中馳ヨリ四ツト至迄

尻ニナレモ也故ニ其相ヲ生徳ニアラハス也瞳子上

ニ付カト見レハ下ニ付ク下カト見レハ上ニ付ヤウ見
レハ也是ハ始拍子ニ行時ハ未頭ヲ見込ス上頭ニ走
ルカ故ニ其道路ヲ見ル故ニ瞳上ニ見エル中馳ヨリレ
テ中頭ニ至リ早ニ其頭ヲ下テ馬場ヲ見込テ行
カ故ニ瞳下ニ見レハ其所以ト知テ所ノ馬ト相ズレ

上足之瞳子瞳子大ト小トニ見エルハ上足ノ馬ニナル
是ハ瞳大ト小トニ見エルトハ大ニ見レテ二度見レハ小ニ見
エルトカト見レハ又大ニナル上足之馬也上足トハハハト足
取テ輕ク付足ニテモナク定リタル足ニテモナク輕ク行

シ指テ上足トハ云フ也足定ラサル馬ナルカ故ニ瞳ニ
其相シアラハレテ大ト小トニ見レハ也

由眼ニ曲 眼張上一ハ拘上五ノ内峻レク或ハ上ヲ見ルヤウニ付
タル上指心アリニ立曲シ生スル也腕シ反ス曲モアルレ

是ハ眼張上一ハ鉤付タルトハ眼額ノ方ニ付タルヲ指テ
云也玉ノ内ケハレクトハスルトニ見エルト云ハ爪ス玉ノ
内駭乱スルヲ指テ峻クアルトハ記セリ心氣正レカラ
ス落付カワルカ故ニ玉ノ内峻クハ有モノ也上ヲ見ル
ヤウニ付ハ立曲シ生ストハ立曲ハ上ハ揚レト欲スルカ故ニ

其相シ頭シテ上ヲ見ルヤウニ付クモノ也左振ニ生
レタルシハ上指心有ニシテ曲ク生スルトハ記セリ脱
反ス由モ同断也

同由眼之曲眼乃ノ深ク窪シテ眼尻ハ物付眼ノ内曇リ
地肌見スレテ瞳子シ後ハ遣ハ込曲アルト知ルレ上眼
縁ニ肉過タルモ思シ

是ハ眼頭ノ窪カナルハ後ニ肉ヲ以テ物付ル氣アル
カ故ニ眼頭内窪ニテ見ユルト知ルレ眼尻ハ物付ルハ下
悍退ル氣アルカ故ニ其相シ顯ス 屋代カニ改ニ

眼頭ノ深ク窪シテ眼尻ニテ物付タルシ
又目ノ内曇リ地肌見ハサルハ下悍ノ故也瞳子シ後
ハ遣ハ込心アルカ故ニ後ニ見ユ志アリ上ニフ子ニ肉ス
キタルモ思シトハ少カ、リタルハ子女ニワレカ、リタル
トテ能ク交ナレニ餘ニ過タルハ氣ニ重キ馬也氣ニ重
キカ故ニ行古シサキニ思テ込曲シ生スル也ハフタニ氣
アレハ人モ氣重ク眠ルカ如クアルモノナルカ故ニ上ニ
フ子ニ肉スキタルハ惡キト知ルレ

亦眼下ニ一寸五分ホトノ横節一スチモニ筋モア

ル曲躰也

同曲眼眼ノ物躰上中下何レニモ眼尾ノ方及ニ瞳子
申リタルハ騎勢乗走ノ曲アリト知ル也

是ハ上中下トハ上得中得下得ノ目ノ内シ指テ云リ
得ハ何レニテモ^レカレホ文ノ如ク目尾ノ方ハ子テ
瞳子曲リタルハ気トテ合カカ故也心曲ルカ故ニ瞳曲レ
リ後ニ氣在テ騎勢乗走リノ曲モナス也ノセトス
ルモ歩ムトシテ苦ニ思フカ故也乗走モ同キナリハ騎
勢ハ足シ以テ蹠蹠クシ以テ人且ニ恐ルハ瞳ノ曲レハ

及タルヲ以其相シ空ニスルナリ

同曲眼眼ノ物躰出目レシテ黒眼ツホシテ浮キ上リ
瞳子定ニラサルハ物驚キ或人ヲ引曲アリト知ルレシ
目ノ同廣キモ物ヲ見ル也

是ハ目ノ物躰出目ニ又黒目ツホシテアルハ人ヲ引
曲有リトハ眼出タルカ故ニ心落ツカス放心レシ眼ニ
ノク氣ヲ持也黒目ハ蹠蹠テ落着目ツホトスルニツホシ
ニハ上リタルハ氣上テ心落着サル也一也瞳子定
ナルモ是レ心氣凡ニ落着サルカ故ニ物驚キ或人ヲ

川曲アルモノ也目ノ間廣キモ物ヲ見ルトハ目ノ間近
ケレハ向ク見テ場ヲ見込テ走ル廣キハ横ヲ見
ル方故ニ向キ少ク其軌カ^{ユル}カ故ニ眼心有テ外ヨリ
出ル物ヲ見テ驚ク也

右ノ如クノ目ノ氣眼尾云

同田眼眼張リ惣躰三角ニテ上目縁三角立テ峻ク
玉ノ内青ク光ルハ人ヲ喰フ也又曰雀落今テ玉目及ニ付
先モ人ヲ喰フ也

是ハ眼張リ三角トハ上三角立テ見ユル眼シ云也上ハ

フナノ一也其相峻シクメ玉ノ内青ク光ルハ人ヲ喰
フ也精ノスルト成ル方故ニ玉ニ光リシ持テ水精凝テ
冷シキ時氷先リ霜暉テアルカ如クアルモノ成
カ故ニ玉内光ルハ人ヲ食フ相トスル也目雀落入
ニトハ俗ニ云カナクホ眼ト云ノ類也落ハルカ故ニ内
ニ光リ合テ惡氣シ持也柔ラシト思フハヨリ
メ響ハメラシントシテ人ヲ喰フ玉目頭ニウキタル
ハ退テ人ヲ喰フモノ也ト知ルべし

白眼ハ瞳子ノ内ニ人形膜也表目ハ澄タルヤウニ見

へうモ底ハ濁リ黒目ノ鏡ト散者也口傳
是ハ瞳子ノ内ニ人散シホロナリトハ世ニ云底否ト
云眼病ノ変也故ニ底ヨリ悪シク成カ故上月ハ澄
タルヤウニ見ヘテモ底ハ濁ル也其相シ知ルニ向人
其形瞳子ニ移ラサレハ何ホト能眼ニ見ヘテモ白
目ト知ルヘシ又上月ヨク澄テ能ト見テモ疑ハシク
ハ扇子カチマ子キナトシシテハハタキツセサル馬
ハ白目ト知ルヘシ示少シ^マ元シタルハ黒目ト白目トハ
トハ散ルモノト知ルヘシ 屋代カ歌

白目ハ瞳ノ至モ朦ニテ上月ハ澄テ底ハ濁レリ
ト詭ルモ其変ナリ

目輪小サキハ目生能ク眼ヲ煩タルト知ルニ口傳又見
張リ弱キ眼モ悪敷也

是ハ口傳トハ目輪ハ眼張ノ変也月ノ性能見ヘテモ
眼縁レコソコ見テ少サク眼張リ見ユルハ切ハ眼ヲ煩ヒ
タルユ(眼カハキテ)如キナル也又見張リ弱キモ悪キ
トハ向フヨリキツト見ルニ馬マハタキツレテ眼ノ中ニ疾
ク言ハ眼精弱キ馬也早ク目煩又風ニ向テ眼ヲ

開トナキモノト知ルレシ
白目ノ白ト云フアリ白目ノ目及目尻ヨリ白キ目腸
懸ルシ云也口傳

是ハ白目ノ白トハアカリ目ノ下ニ水ト云目頭或ハ
目尻ヨリ白キ目腸セシク云フ也是ハ其腸シ切
ルカ或ワヨク入ニ切シテス蒸ホラサセハ則治スルナリ
糸トトノ様ニカレモノナリ切様ハ金針シ糸ニ
尖一分ホトイヌシエノワタカレ兵シチヨトワキサ
ク変ナリ水ノ如クナルモノ出テ治ルモノ也アト

邪ニキコ付ル変ナリ
大目 是シ馬症ニモ渾睛虫ト号ク歌
年少児驕馬ニ秋露露中蛛水入テ目変化遂
成虫渾如蛟聞水恰似戲珠籠日淺頻舍目時
深醫障腫藻点全無效唯烙未成功欲通神
聖訣開天穴上針黑白睛中刺休教犯水輪針
虫隨水出師皇萬代功有
黒目ノ白ト云々又アリ黒目ノ内上ノ方ニ三日月ノ如ク
白キ物見ルシ云也口傳

是ハ本文ノ如クアルモノ也是ハ後ニ眼アアルモノ也又
筈ツキ目ナトノ如クアルハ免メモ可也野三ノツキテ
其治タルアトハ白キ内ニカキイロナルハヨシ白クカレ
ハ悪シ亦白キ細筋腫子シツラヌキタルハ駿馬ノ
相トテ馬疔及九子良馬集ニ云フ処ノ白筋腫
シ貫クハ是千里ト云リ駿足也是ハ習ナクハ悪
キ眼ト相ル時ハ大成ル差ヒナリ
大目ノ小目ト云フアリ大目ノ小目ト云フ内大キニシテ
眼縁スワリタルヲ云上也

是ハ本文ノ如ク上下相スル也心養ニ具心活養ナル
カ故ニ至大キニメ眼縁ヨク居リテ見ユルナリ
定易ノ上也トハ誤ナルハレト云フ馬ニヨリ上下ノ
縁向ナキハ合心アリテ悪アルハレトナリ心得テ相ス
ヘキト云リ

小目ノ大目ト云フアリ玉ノ内少サク眼縁廣カリクハ
目生悪敷也口傳

是ハ心シトリタル馬也目ノ玉腫ハ少サクハ小目ト云
大キニ見ユルテ眼ノ縁廣カリタルハ凡ニ逢テタヘス

破ナト入テ目性ヨクナルモノ也赤小目ノ大目ト云ニ
一ツノ傳アリ云ヨリ見タル所ハ眼張小目ニ見ユルヲ
ヨリ當リニ見レハ眼シクワト見ユラクハ小目ノ大
目トメ心強ノ馬トシテ討物ニ驚カサルモノナリ

或説云馬ニ諸目ナク牛ニ斤目ナレト古人モ云リ
口傳ニ諸目ナキトハ馬シ強ク使トキハ目病ニ斤目
ニナリ或ハイタツテ怒ハ上リ目トテハ馬ハ丙丁ノ君
大目火ニ生メ陽歎ナル故火之ホリニ目ニ病ナリ牛ハ
目ニ憂敷ハナレトハ牛ハ小方ノ陰歎也北方ハ水ナリ

水生木成故ナリ

大目ノ出目ニシテ白目多キハ大曲アリト知ルレ小
目ノ大目モ同齊也大目ニシテモ小目ニシテモ黒目ハサ
ク白目多クシテ目尾ヨリ白目シ見込スハ大曲物ト
知ルレ黒目常ノ如ク目惣射能見ニモ瞳子駭ハ曲
アリト知ルレシ

是ハ氣勝ニ心正シカニナルカ故也綴ハ兔ナトノ如ク
ナル目ハ氣ツム⁴ウカヌモノ也白目多ハ白目ハ肺氣
ツクテハ氣勝ニ心劣レルカ故ニ物ニ驚ク大曲有ト

相る也又小目ノ入目ハ惣辨ノ眼張小目ニメ世ニ云カナ
ツホ眼ノ如ク目ノ玉少サクメツホシタルヨウニメクホ
テシユルモノナリ是ハイリ気ニメ気ヲ彼メ居ル
相ナレカ故ニ登ル時曲ツ出スモノ也是ツ小目ト
悪キ相トハスル也大目小目モ二目尾ヨリ白目ツ見返
ス大曲物トハ黒目チイサキハ眼精弱シ白目多キ
目成ハ気克テ肝経ヲ破ル悪キ相也目尾ヨリ白目ツ
大見返ハ人ツアナトリハ曲切曲ノセ勢ナトツスル悪キ
相トスルナリ又瞳子騷ハ心不正ヲナワカサルカ故也

故ニ曲ツナスヘキト相スルナリ瞳子ハ心ニ傷ス故ナリ
又眼ノ筋アルハ曲辨スハ如キアルモノ
上目尾下一急ニサカリタルハ切丈ノ曲アルヘシ又下目土一急
ニアカリタルモ曲辨也或ハ上目尾下目尾トモニ短ク留
リテ目尾ノ間ナキモ曲辨也
是ハ如キナルハ陰曲ノ相也ツリ付タル相ニ等キ也下
目多ニ上ハアカリタルモ揚リ馬及リ馬ノ相トス
ル也上目尾下目尾尾ニ短ク止リタルモ立踞ルノ
相トスルモノ也目尾ノ間ナキハ附テ退ル曲ハ曲ツ

ナス相トスルモノ也眼ヲ以テ心ヲ相スルカ故ニ其形
泰ニ平カナラサレハ皆曲躰トハスル也

眼ノ内澄キラス濁タルハ惡敷也大作眼ノ内ハ赤シテ
モ通タルハ疵也

是眼ノ内サハス濁リタルハ惡ク不得ノ相也心清カ
ニス冥一サルニ目ノ内濁ル也大作火ニテモ目ノ内ハ通
トタルハ目精惡キカニハ疵也又口傳ニ馬ニ依テ目生能
見張強クハ用テ可也

條突目疵也目蛭疵也

是ハ書ク如クキラフノハニテ指テ腫一ワタラサ
ルハ不苦駒ノ時益或ハ傳ナトテ眼ツツキ指サレ
タル所喰テ其跡見ユルヲ云也古ハモ目精毛ト云
ル名馬モ益ツキノ馬也目蛭トハ目ノフキニ蛭ノ付
タル如ク黒キイホノコトクナルモノアルヲ云也見タ
ル所アレキカ故ニ疵トシテ亦痛也下ニアルハ瀉用ノ
子ニ准スルカユニ是モ嫌ナリ其外ニアルハ不苦ト
知ルヘシ

金瘡云ニ後一鉄ノ燒金ツアテ、療治ヲナス

古又有

け眼下りて付モアリ斤眼大成モアリ小成モアリ何レ
モ思ヒキ也

是ハ如女ナルハ書ノ如ク何レモ嫌也又然モ思ヒキイ

ト云フノてこテ指ニ嫌フ一ハ此スハ口クナレハ用ニ立

心武用ノカハこナラヌ

西様トモコ何レモ思ヒキトハ見思ヒキカフナリ目生

能瞻モ正トキハ用ニ回キナリ

右ニ外眼ノ見アラウ種々有レ能クハシ付テ見ルハ馬

心ヲ知テントナラハ眼ヲ知ルニ有惣躰善ラフス馬ノ直
ナルハ眼ノ内見シキ故也

是ハ始ニ説タル如眼ハ五行之精花肝經也ト云レ眼

ノ玉ハ心ニ属スト云ル時ハ和漢氏ニ馬ノ心ヲ知ルハ目ヲ相

スルニアル古又也馬ヲ川立見ルニ先日シ見ルナリ顔

ノウチ有躰四肢共ニ曲躰アレハ四調ニ至リ老馬

ニテレハ曲ナキハ心ノ直ナルカ故也其直ナルシ不審ニ思

テ眼之内ヲ見ルニ必シモ眼張ヨク目ノ内清テ瞳平

カニ正ク養ニアルモノ也故ニ右ノ傳シフマテ見ル古又種

クサハ一ウ、心ヲ付テ右ノ種有ルコトヲ知テ心ヲ付テ
見ヨトノ安ナリ乗ラスメモ心ヲ知ルハ眼也故ニ眼
ヲ能見ルコトハ心ヲ知ルノ本アルカ故ニ能相スヘキモノ
也
歳齒之事
馬ノ歳以齒知ルコト和漢氏ニ同ト也止齒ハ血精ヲ
為本倍秀為骨之精ヲ為齒ト云也諸々ノ精
ナリ物有ル以齒歳ヲ知馬已而ナリ

當歲

是ハ上下ニ収宛生ス馬ハ月ヲ司メ生スルカ故ニ上下ニ
ニ枚ツアリ其精シ土ニ合メ地ノニ生スニウアルモノハ圍
四ツニ成ル地精ナルカ故ニ上下四枚ノ齒ヲハ當歲ニ生
スル也

二歳

人小兒ノ時ハ齒短少ニメ茄子齒ナリ黒色ハ腎経ノ精
上下八枚アル也ハ四象八卦ヲ生スルカ如ク四ツアルモノハ
分ニ至ル地精ナル故也
其齒齒少長ノ當也ノ如ク齒ノ内齒アリ茄子ナリ

三歳向歯生揃其形は又字也

是ハ上下十二枚ハ六ノ教目ヲ司トルカ故ニ歯ハ腎ニ屬水
ヲ主ル故ニ三十六ニ枚ニ至ル月ハ一ヨリ起テ十二終ル天ノ
水ハ元ノ水ニ陽水ナリ故其色白色也地六ノ水ハ六害
ノ水ニ陰ナル故其色黒色又天地人三其六三々九九々八
十ノ二又一六日ヲ司トル日ノ數十也是ヨリ十二至ル一
天ノ十干ヲ司ル月トヨリ起ル陰陽兩儀四象ヲ生ス
四象ハ卦ヲ生ス八九七十ノ二ヨリ起ルモノハ一ニ反リ
ニヨリ起ルモノハ二ニ至ルニハ偶數也三ノ奇數ニ依テ

十ヲ運テ馬胎内ニ十二月宿ル故ニ馬ハ月ヲ司トル
故ニ其教三歳ニ至テ全ク齒ヲ生スト云家語ニ出
タリニ歳ヨリ夕精ヲ見ルモノ也其形口文字ノ
如シトハ齒ノ本サヒ色ナルモノ也嚙合スル上ハ白シト
知ルレシ人モ少ク齒ハサヒニテ茄子止齒トハ世ニ云也
イトヲナキ人ハ其死クハアルモノ也

四歳

上下中四齒替其形大ニシテ白色ナリ口傳

是ハ四枚替ル下ハ馬月ヲ司ルカ故ニ是ハ一ノ南ノ方ノ

地ノニ生スル故ニ四歳ニテ地精全ク至ルカエハ
中央ノ四ニカハルナリ其四枚ノ齒駒ノ齒ト違
テ其形大シニテ白ク齒ノ中實力ニウルホヒアル
モノナリ口傳ニ三歳迄ハ尾ニ氣ヲモクテラル故尾
ホクレサルモ人也齒ハ三歳ニ揃テモ尾シ上見ル
ニホクレスタヘニ解テモ朝ニムスホウレテ假ト小兒ノ
駿ノコトクカタテリ子ハリ有ハニ歳同又ナリ心得
テ象健キコナリ

五歳

上下中八替此歳牙シ生スル
是ハ上下八枚五歳ニ至テ替ル其ハ天五上ノ生ス
ルノ理也ニハ四ニ至リ四ハ替リ四ハ替リハハ替ル是
ニツ有モノハ四ニ至リ四有物ハハニ替ル天五ノ土全ク
至ルカ故也此歳牙ヲ生スルノ精カ全ク至テ急陰
久キカ故ニ五歳ニメ牙ハ生スルト知ル也馬強ニ
ハ六歳ニ至テ生スルト記セルコトアレ日本ノ馬ハ五
歳ニメ生スルト知ルハ是ハ其土地ノ性ニヨル故也
或旧記ニ南方ノ橘北方ニ移セリ担穀トナルト記

セリ陽地ニ植タルハ花咲ク早北方ノ日影地ニ植
タルハ花モ遅シ古歌ニ

日ノ影ウツルウツラヌ斤ハクニサケルサカカル梅ニ花
又五歳迄ハ上下ハシニ氣スイ歯アルコト立駟ト云

六歳

上下昭皆替歳調テ精平也

是ハ上下服ノ齒ニ替ルテハ前ニ説ルコトク止齒ハ腎ノ
精也天ノ水ヨリ地ハ木ニ至テ五行全ク備リ水精全シ
故ニ六歳ヨリハ齒替ラサルモノ也齒替ラサルカ故ニ

精モ平カ也トハ説リ此歳ヨリシテ四調ト世ニ人ノ呼ビ
也又其替タル齒少シ出テ内ノ方ハ肉ニハナリス者シ正
キ六歳トスル也世ニ若カ六歳ト云亦中ノ齒ト長同
クニ立合因ニハナシタル時ハ最早七歳ニ移ルナリ是ヲ
世ニ立揃タル六歳ト云ナリ

七歳

六歳齒ノ内ノ方生揃者也

是ハ左右ノ端ノ六歳齒長ノヒニ内ノ方肉ニハナレテ
立揃モノ也七八陽ノ至極也老陽ノ教故ニ其齒長

シ並テ全クナルモノ也是シ七歳ト知ルモノナリ
八歳

上下外齒ノ内黒キナリ

是ハ上下外齒ノ内黒キナリ齒ハ水ニノ腎精也齒ノ
白ク出ルナリ腎ノ湯也黒キハ腎ノ陰也故ニ其尤湯
スキテ八歳ニ至ルヨリメ申ニ黒キ陰ノ容シアラハス
モノ也水黽黒色ナリ
安驥集ニ馬ハ歳ナリ牛ニ九歳ナレト説リ然レニ
小河垂隆及室代権川等カ相術ニモ八歳ノ下説

タリ其時ノ節モ當流ノ如クハアルモノ也思ヒラ
クハ七歳込ハ齒ノ生スルナリ八歳ヨリシテハ
下齒ノ生スルナク齒ノ上髓ノ内ニテ見ルカ
十歳ニ安驥集ニ馬ハ八歳ナレトハ記セリト知ル
又古人ノ語ハ秘ニ當歳ノ向エニモノ齒五歳ニ唇
ユマナリ

九歳

下ニ臼形也

是ハ下ニ臼ニナルナリ初ニ生シタル齒ナルカ故ニ其齒

今久シキカ故ニ齒ノ髓ツカレテ白ノ如ク齒ノ中隔
ニナル也下ヨリ勞シ出スハ眼上下ノ傳トテ医取
ノ中ニ此テアリ只地精ナルカ故ニ地ハ下ヨリ動ク山崩
ル時ハ下ヨリ崩ル也故ニ上只不動メ下口動働
カ故ニ下ヨリ勞シ生メ的トハ十九モノナリ

十歳

下四の形也

是ハ其次ノ齒如圓ニ白ニ成ナリ勞次第ニ生ルカ故ト
知ル

十一歳

下六の形也

是ハ下六枚の形ニル也是モ其次々ノ齒勞テ
如成ナリ

十二歳

下ニ平ニ食居ル也

是モ食合ニトノ年久シキカ故ニ角シ食スエテ
平ニナル也是又中ノ齒ヨリ其形ヲ顯テ前ノ理ヲ
以知ル

十三歳

下四平ニ喰居ルナリ

是モ四枚手ニ喰スル一白ニナル理ハ等キシ

十四歳

下四平ニ喰居ルナリ

是モ又前ノ理ト等也

十五歳

上二ウ白形也

是ハ十五歳ニ至テ上二ウ多ハム一ハ動カサルカ故ニ其

勞ルニナリシテ漸十五歳ニ至テ上ノ中ニ勞来テ白

トハナル也十五歳ニシテ上ノ齒ニ其姿ヲ顯ス又馬

ハ月ヲ司トル故ニ十五歳ニ至テ月ノ精盈テ、則カ

クルエエ十五ニテ上齒ニ勞来ル一ナリ下齒ハ動キ

ハタラクカ故ニ白ヨリ平ニメクリメクワテ上齒ニ勞

クルモナリ是動ト不動ノ理ヨリメ其形ハアリト知

ルヘシ月ノ盈截ノ理ナリ

十六歳

上四ウ白形ナリ

是又前ノ理ニ等キ也

十七歳

上六の形也

是モ右ノ理ト等ナリ

十八歳

上ニウ平ニ喰居ルナリ

是モ年久ク喰立角ツカミ居テ平ニ嚙モク

十九歳

上回ハ平ニ喰居ルナリ

是モ食居ル口ノ前理ニ等キナリ

廿歳

上下皆平ニ喰居ルナリ

是モ上ノ歯劣テ角ナク皆喰ヌユルカ故ニ平

ニナルモノナリ

廿一歳

下ニウ歯髓ノ内黄ニ喰也

是ハ髓ノ内黄ニ喰テ老陽ニ七九一歳ニ至テ精衰

フルカ故ニ歯ノ内白ノ如ク陷カニ成テ歯槽其陷

カナル内ニ留リ黄ニ歯ニ痛ムソカハ黄ハ気ノ衰ル色ナリ
西金衰テ秋桂黄ハ冬各ウル故ニ歯ノ精弱キカ故
ニ髓ニ黄ノ形ヲ顯スモノナリ

廿二歳

下四黄ニ食ナリ

是モ勞次ノ歯ニ移ルカ故ニ頰ニ唇ルナリ

廿三歳

下六黄ニ食ナリ

是モ前ノ理ニ同夏ナリ

廿四歳

上二ツ黄ニ食ナリ

是ハ下廻テ其気上ニ移テ其勞多ク齒ノ形ニ顯ス

モノ也前ノ理ニ同

廿五歳

上四黄ニ食ナリ

是モ其次々ニ勞ソアラハミテ次多クニ黄ニムナリ

廿六歳

上下皆黄ニ食ナリ

是モ前同

廿七歳

下ニ齒髓ノ内白ク喰也

是ノ白キハ血虚シテ精弱クナルカ故ニスイノ内朽
テホククトスルカ如ク白ク中ニ物見エルモノナリ
血虚レテ精ヲトコユレハ黒髪白髪トナル齒水
也水ハ精強キ時ハ黒シ故ニ駒齒人時ハ茄子齒ノ
内朽テ水ノ精弱ナレハ天ノ水ニカエラテ逆上ルカ故
ニ齒ノ内白クハナルト知ルハキナリ

廿八歳

下四白ク喰ナリ
是モ其次ノ齒ニ移シ

廿九歳

下六白ク喰ナリ

是又其次ノ齒ニ移シ故也

三十歳

上ニツ白ク喰ナリ

是又下廻テ上ニツカレ来テスイ内朽テ白ク成下短

三十一歳

上四白ク喰ナリ

是モ前ノ理ヲ以テ移也

三十二歳

上下比白キナリ

是ハ上下皆白ク朽テ歳コニウキ又三十二歳ヨリ

上ノ歯ハ見エ難シ

三十二歳迄其歳シ形ニアラムス一ハ馬ハ地精ナリ

コハ歳ヲ教ヨリ登ルニハニウ也ニウ有ハ圍四ウニナル四ウ

アルモノハ八ウニナルナリ四ハ三ナノニト教シアラハス

カ故ニ三十一歳ニメ其精ハ尽ルト知ルレ

又月又三十二日迄其月ヲ持ナリ初三ノ月ハ三日ヨリ出

ル故ニ馬三十二歳迄テ歯ヲ相スルナリ

白齒上下十二枚一年十二月ニ象ル也牙四枚四季ニ象ル

真齒左右上下七四枚二十四気ニ象ル也蓋シ駒ノ齒ハ

小短シテ其色鉄垢口文字ノ如シ四調ハ齒大キニシテ

其色白也老馬ハ齒長伸レテ其色黄ノ如ク齒根ノ

内朽ル者也

是ハ馬ハ月ヲ司テ其精ヲ土ニ合メ火ニ生スル也故ニ
月ハ十二ノ數ヲ司トル月ハ水也土ハ腎ノ水也故ニ土
ハ火ノ數ヲ思フテ向土與土カケテ二十ニ合アルモノ
向土計分テ三時ハ十二枚水月ヲ司トルノ精也土ハ又
水ノ數ナリ故ニ上下凡ハ六ノ數ヲ以テ十二枚ノ土トナ
ル也是ヲ以テ一年十二月ニカタトルトハ説リ

又牙四ハ四季ニ象トルハ馬ハ地精ナルカ故ニ其精
是ハ四ノ方トハナル角アルモノハ牙ナリ牙アルモノハ
角ナレ唇アルモノハ土アルモノハ齒ナレ

是天地自然陰陽ノ理ナリ故ニ方四枚ヲメレテ地
ノ數各ヲ四十枚ハ地ノ數ナリ

又與土上下廿四枚ハ二十四ニ合テ土ニ象ル也トハ左ノ上下ニ
六十二右ノ上下ニ六十二合テ四六二十四枚也是又向土
ノ理ト同ク六十二枚也地精ナルカ故ニ其數也十
二月ハ二ヲ二分テ廿四季ニナル是ヲ廿四季ニワケテ土ニ象ル
ト云フハ馬ハ月ヲ司ル月ハ一月ニ合テ土ニ合ルト云フ
ニワケナル也故ニ一年ヲ廿四季ニ分テ腎ノ水ノ精ヲ
土ニ合テ廿四季ニ象ルトハ説リ

又駒ノ齒ハ短トハ小タケニ萌出ル齒ナルカ故ニ其如
シ鉄垢色ハ腎精強キカ故ニ黒キ形ニ見ユルナリ
四齒ハ齒天ニメ其色白トハ精至ニテ強キカ故ニ齒大ニ
メ其色潤有テ白色也水精冬ニ至テ氷寒ク光リ
アルカ如シ又老馬ハ齒勢ヒ有テ生レ伸ルハ氷ス齒
茎ノ肉老テ落ワルカ故ニ齒伸テ見ユナリ其色
黄ノ如クニナルハ老タル齒ナルカ故ニ齒槽其生齒ノ
根ニ留テ黄ニハナルモノ也
髓ノ内朽ルトハ年久ク嚙合スカ故ニ精シトロニテ

髓ノ内朽ルト知ルキナリ

爪生之事

是ハ其形ハトク凶ニ記リ是ヲ以テトクト考
エテワキマフキナリ
爪ハ筒高シテ大キニ長ク角立テ能居リ其色黒ク
白爪ハ黒ク雜リ脊背ハ居リ及黒ク裏ハ深ク穿カレテ
胡桃形荒クシテ槌崎キツト知ルシ
是ハ筒高トハ爪ノ直ニリワクリトシタル曲ト在テ爪ノ
高キシト早トスルカ故ニ筒高ニメ大キニ長ク角立

テ能居ルヲ言トスルモノ也角立トハ向フヨリメ見
ルニ瓜ノ四方ヨリイカワニノ角アルヤウニメ角ハナク
能踰付タルシ角立テ能居リタルトハ云也
其色黒ク白瓜ハ、雜リトハ黒キハ水ノ色也肝
ハ青色也青瓜モ水ヨリメ養フカ故ニ水ノ黒色陽
ニ養メ青クハ成也瓜ハ肝經也肝木膽腑眼筋瓜
其肝ノ母ノ臟ハ水也其母強キカ故ニ其子ノ肝ノ
精強シ故ニ瓜ノ色ハ黒クハ見ユルシハ瓜ヨロシキトハ
知ルハキ也

又白瓜交ルシ吉トスル下ハ氣ノ運ヒ回シカ故也白キ
瓜ノ形也氣強ク行カ故ニ白瓜ハ走ルト知ルハ人モ小
瓜ト云生際ニ白瓜アルハ無憂也死シタル者ニ其小
瓜ノ白瓜ナシ故ニ白瓜アルハ氣ノ強キカ故ト知ルハ
キ也

又皆粹スルハ氣強カ故ニ夫ニ能當シ持テ也
頭ノ黒キモ精強キト知ルハ裏ハ深サクシタル石ニ
カラス達者ト知ルハ入モエフスノサクレタルハ達
者ナルモノ也

胡桃破アラク見立也 桶先ニ付テ爪ノ精シ向一運シテ
長ク成カ故ニ桶先ハ長キツ吉トストハ説リ
牧馬ハ爪老シ平ク尾裏堅キハ吉里馬ハ爪平成ハ悪
敷ト知ルハシ

是ハ牧馬ノ草ハカリシ踏カ故ニ平ク見ユレ尾裏ラ
堅ケレハ後ニハ能ナルモノ也里馬ハ爪平ナルハ後裏
カクルハイナシ故ニ是シハ嫌フ也世ニ平背ト云馬
是ナリ悪キト知ルハキハ兔角ニ立テカタキ爪シハ吉ト
スルモノナリ是傳以テ定シテワキマエ知ルハ也

恒忠松玄海裏ハヨ子シ能ホリテ桶先トメ茶ヲ
付テヌル烙シマテハシ
握爪ハアクトシ象茶及ニ打落テ薄ク弱クメノ爪
先ニ立様ニシテ厩シ後シヒキク板シキテ立置
ハシ又前ヲ馳ニテカケル馬ハ右ナラハ左ノ後足ニテカケ
ルユ立危ノ爪先ノ内ノ方ニテ外スレ馳シ早キ馬ナ
ラハ後爪ヲ短クスヘカラス馳ツソク成モノナリ其外
諸々ハ爪ニ心得有フナリ
爪キハアカリ魚ハ見馬アラハアラカ子ニテ燒冷スレ

ツル瓜シノグキカニウチナシテウラトル人ノ類ニカラス
ツル瓜モツハツレニウリカノツキアタナニキホス一し

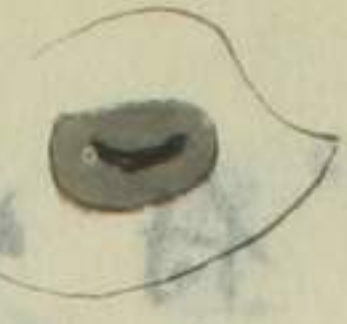
追加曲眼

眼出目シテノ鼠ノ如ク黒目ノ内光リ出テ玉ノ



色黒シニト上先リスル也瞳毛長ク瞳子ノ上ニ懸リテ
生留ルハ大曲者也黒目光ス尾黒目ノ内猶黒ク上

同眼光シテ瞳毛上下ヨリ生相タルハ悪キナリ



眼張ハ常ニ替ルイナレトイハ腫子退エヨル者
大不行馬也赤目尻ノ玉シ神付タル孫ナルモ不行

同眼

馬トナル一し



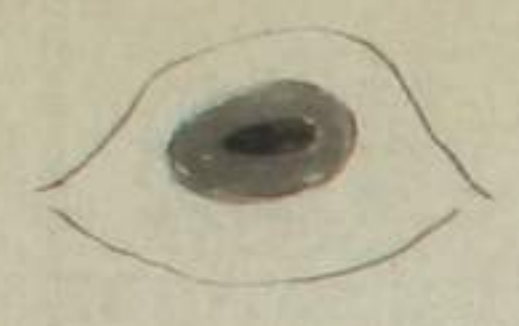
此目ノ形何茂玉ノ清ト濁ト乱ト先ト直トク考
ハ善悪ヲ分ツレ示眼半ハカヨリ後ノ方ニ皺有



モ曲躰ニシテ不行馬也或眼半ハ前ノ方ニ皺ア
ルハ玩反ス馬ニシテ立心モ有レト惣而人喰ヒ馬ハ
目ノ上目ノ下ニ筋立テ皺有ルモノナリ

同上俾

眼張小ニシテ見開キ大也

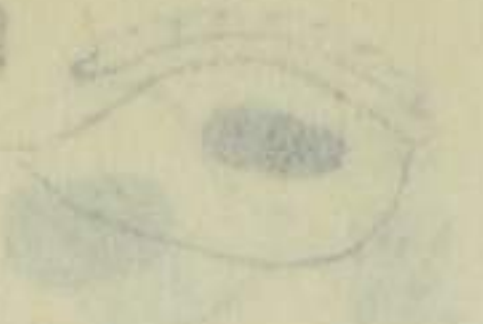




目 眼 眼 眼 眼 眼 眼 眼 眼 眼 眼



目 眼 眼 眼 眼 眼 眼 眼 眼 眼 眼



目 眼 眼 眼 眼 眼 眼 眼 眼 眼 眼

